

2019 JUA/AUA Resident Program 参加報告

松 山 聡 子 (大阪母子医療センター)

この度、2019年度のJUA/AUA Resident Programに参加致しましたので報告させていただきます。2019年のAUAは5月3～6日に米国シカゴで開催されました。このプログラムでは、滞在費ならびに学会参加費用（Live Couse Pass 含む）を学会に援助していただきました。私自身はAUA annual meetingへの参加は4回目となりますが、今回は様々な出会いがあり、今までで最も濃い学会になったと感じています。

AUA annual meetingではsocieties for pediatric urology (SPU)のannual meetingも同時に行われています。私自身の発表はSPUのPosterであり、AUAとSPUを行き来しながらの参加になりました。Instructional courseも受講させていただき、非常に勉強になりました。

一番印象に残ったのは、AUA resident bowlに参加した事です。全米を8つの地域に分け、それぞれの地域で選出されたresidentで泌尿器科の知識を競う大会です。AUAのresident 4人とinternational member 1人の計5人で1チームです。私はNorth Centralチームの一員として参加しました。非常に白熱した大会であり、AUAのresident達は1年前から準備をして臨んでいました。解剖学から最新のガイドラインに関するもの、症例提示による診断・治療に対する問題まで内容は様々でした。医療の歴史に関する問題が多い点も特色を感じました。また、AUAのresident達は得意な分野と不得意な分野の差が大きい事も印象的でした。研修病院により、臨床経験が大きく異なっているとの事で、得意分野に応じて事前に担当が割り振られました。私は小児泌尿器疾患担当になりました。残念ながら2回戦で負けてしまいましたが、チーム内で真剣に討論したことは大変刺激的な経

験になりました。

また、メンターとしてNationwide Children's HospitalのDr. Chingが相談役をしてくださいました。小児泌尿器科医として臨床に関わりながら、自身の研究室をもち活躍されている話や、米国の小児泌尿器科の現状に関する話をお聞きすることができ、大変素晴らしい時間となりました。

AUA president receptionでは、exchange programの参加者と交流する機会をいただきました。ヨーロッパの若手の先生方と、国ごとの研修の違いや診療システムの違いなどについて意見交換する事ができ、興味深かったです。また、Dr. Sakamotoと再会する事ができました。Dr. SakamotoはUC San DiegoのProfessorで、2012年のJUA/AUA Exchange Programで金沢大学にいらしていました。当時研修医であった私にとって彼女の存在は非常に大きく、海外に目を向けるきっかけとなりました。



写真2 president reception : JUA/AUA 交流プログラムに参加された先生方と Dr. Ching と。

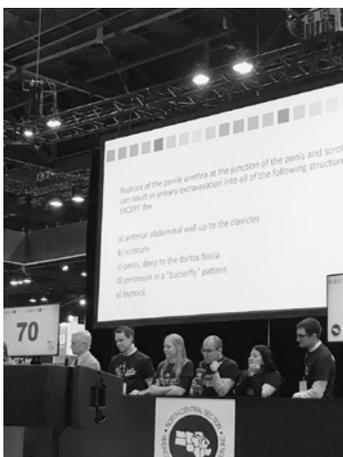


写真1 resident bowl



写真3 president reception : Dr. Sakamoto と。

た。再びJUA/AUAの交流事業を通して彼女に再会できたことは、感極まる思いでした。Dr. Sakamotoに president receptionに参加されていたAUAの大御所の先生方とお話する機会を作っていただき、夢のような時間を過ごすことができました。

今後は、この貴重な体験を活かし、泌尿器科学の発展

や診療に貢献できるよう、より一層努力を重ねていきたいと考えています。最後になりますが、このような機会を与えてくださったJUA・AUA両学会の関係者の皆様、推薦いただきました金沢大学 溝上敦教授ならびに医局の皆様、国際学会に興味をもつ機会を与えてくださった大阪母子医療センターの皆様に心より深謝申し上げます。
